

2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2022年4-6月の延べ宿泊者数（全体）は「1,469,520人」、前年同期比で「+44.9%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,460,010人」、前年同期比で「+45.0%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「9,510人」、前年同期比で「+29.0%」でした。

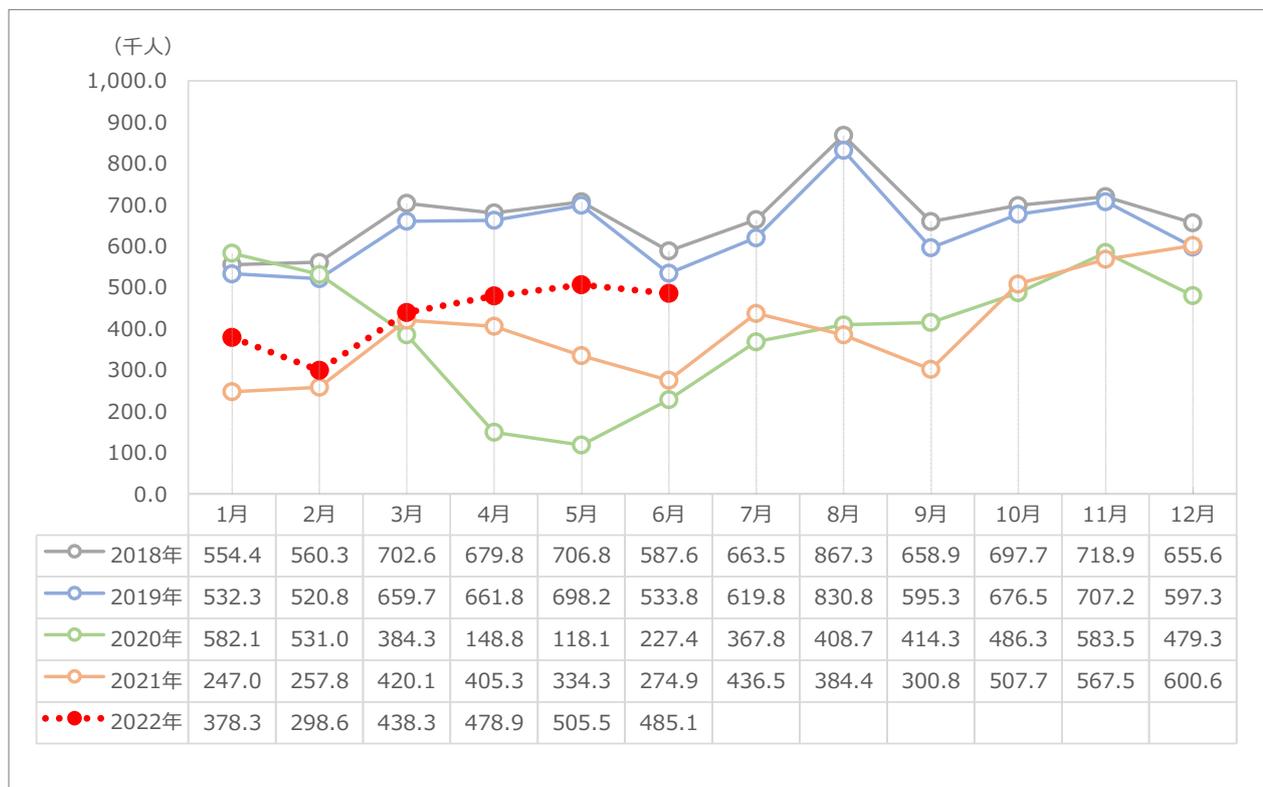
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,469,520	人	（前年比： +44.9 %）
4月：	478,890	人	（前年比： +18.2 %）
5月：	505,530	人	（前年比： +51.2 %）
6月：	485,100	人	（前年比： +76.5 %）

※前年比・・・2021年2Qとの比較

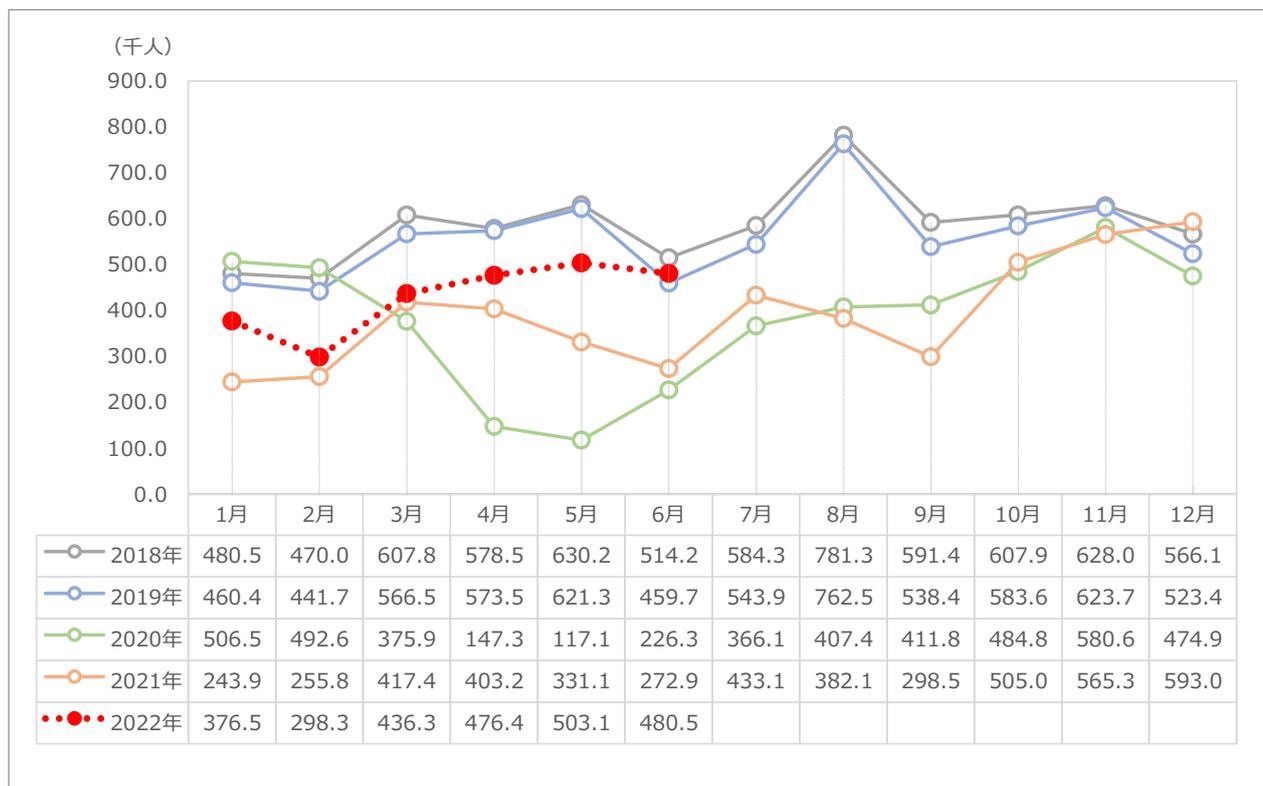
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

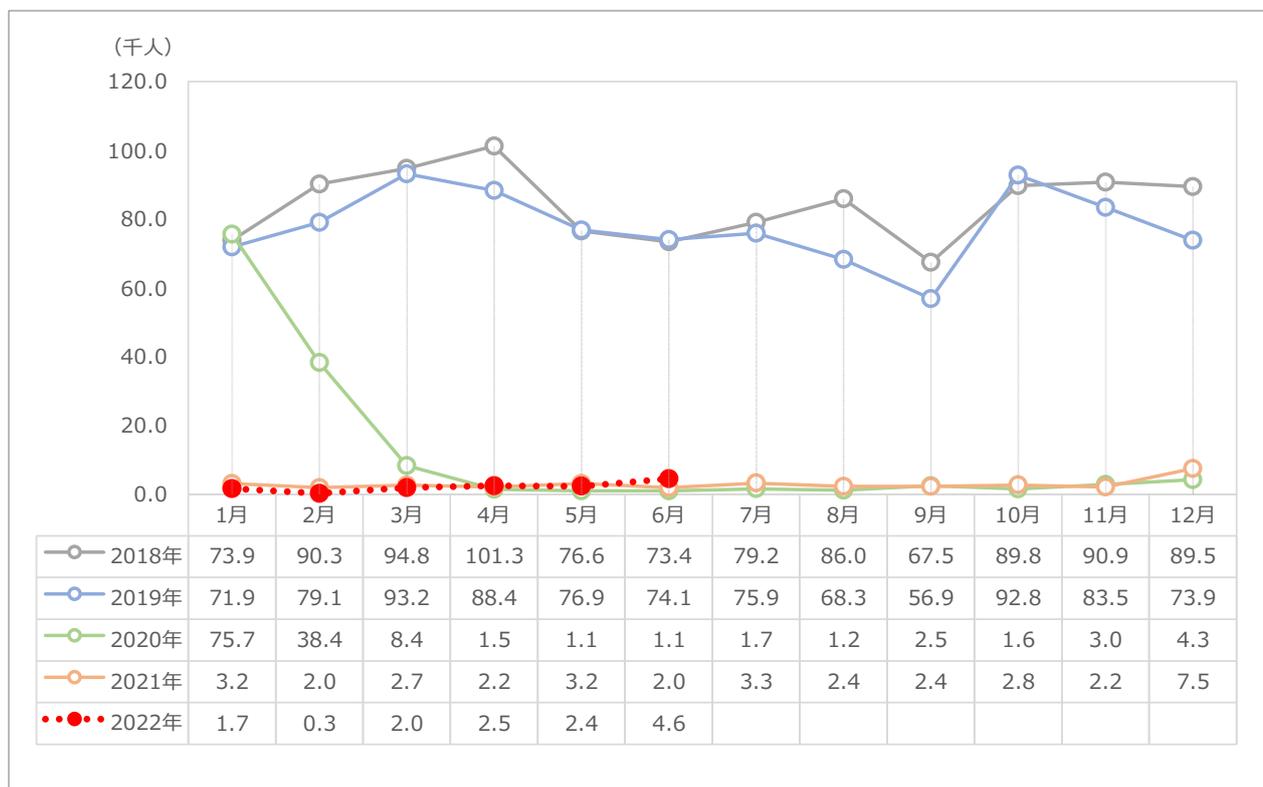


2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

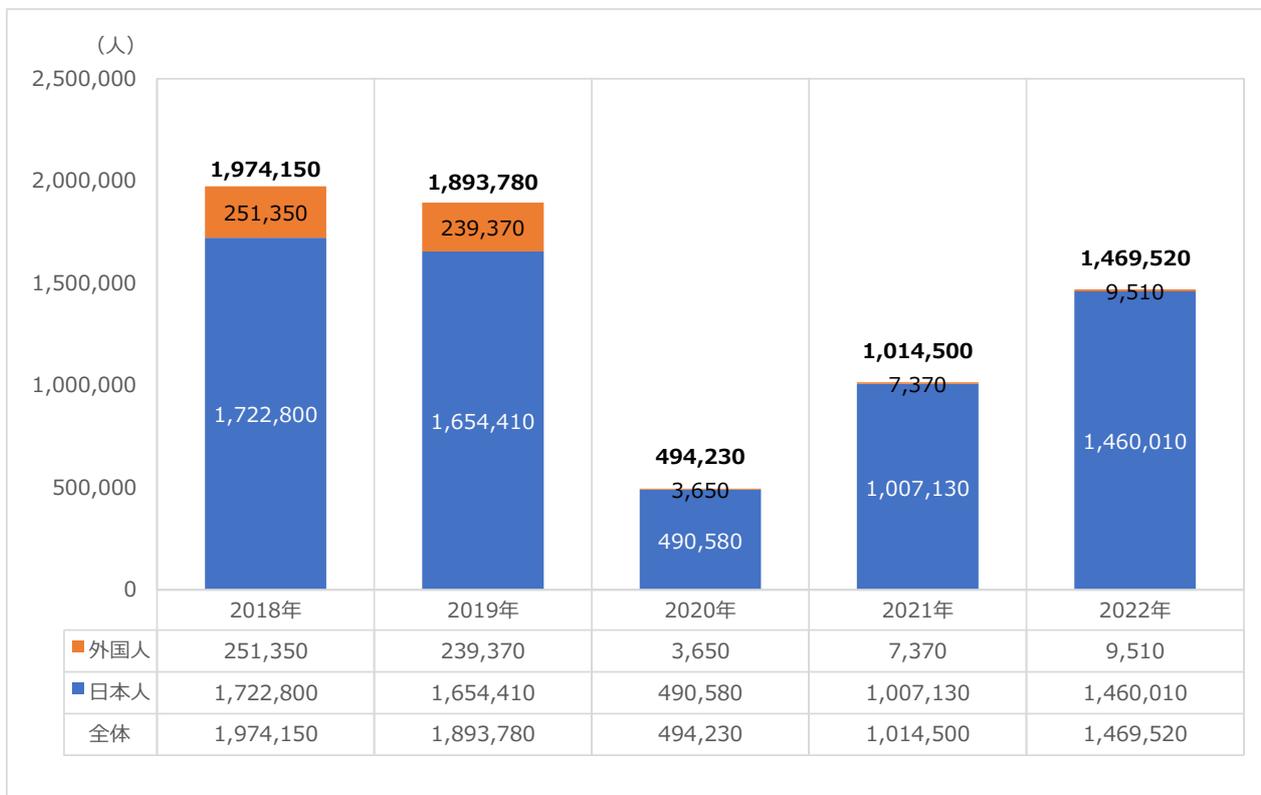


③ 外国人延べ宿泊者数

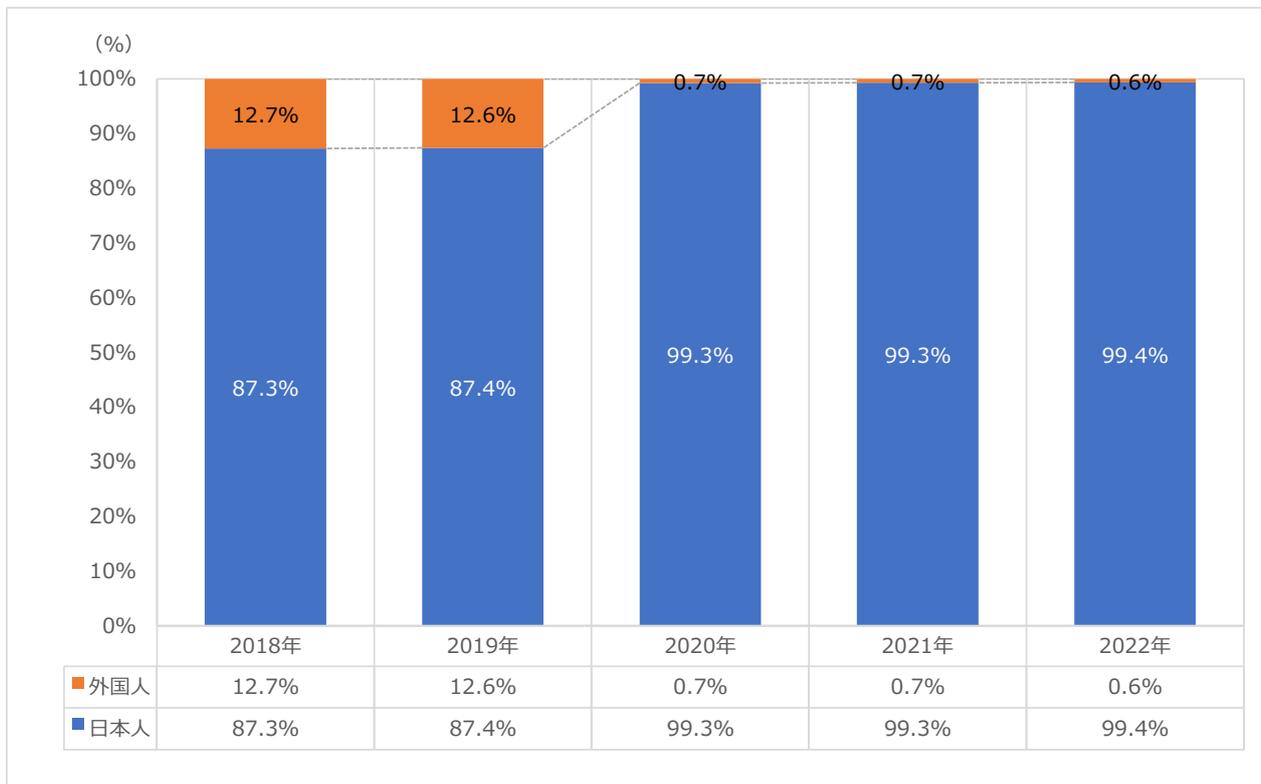


2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



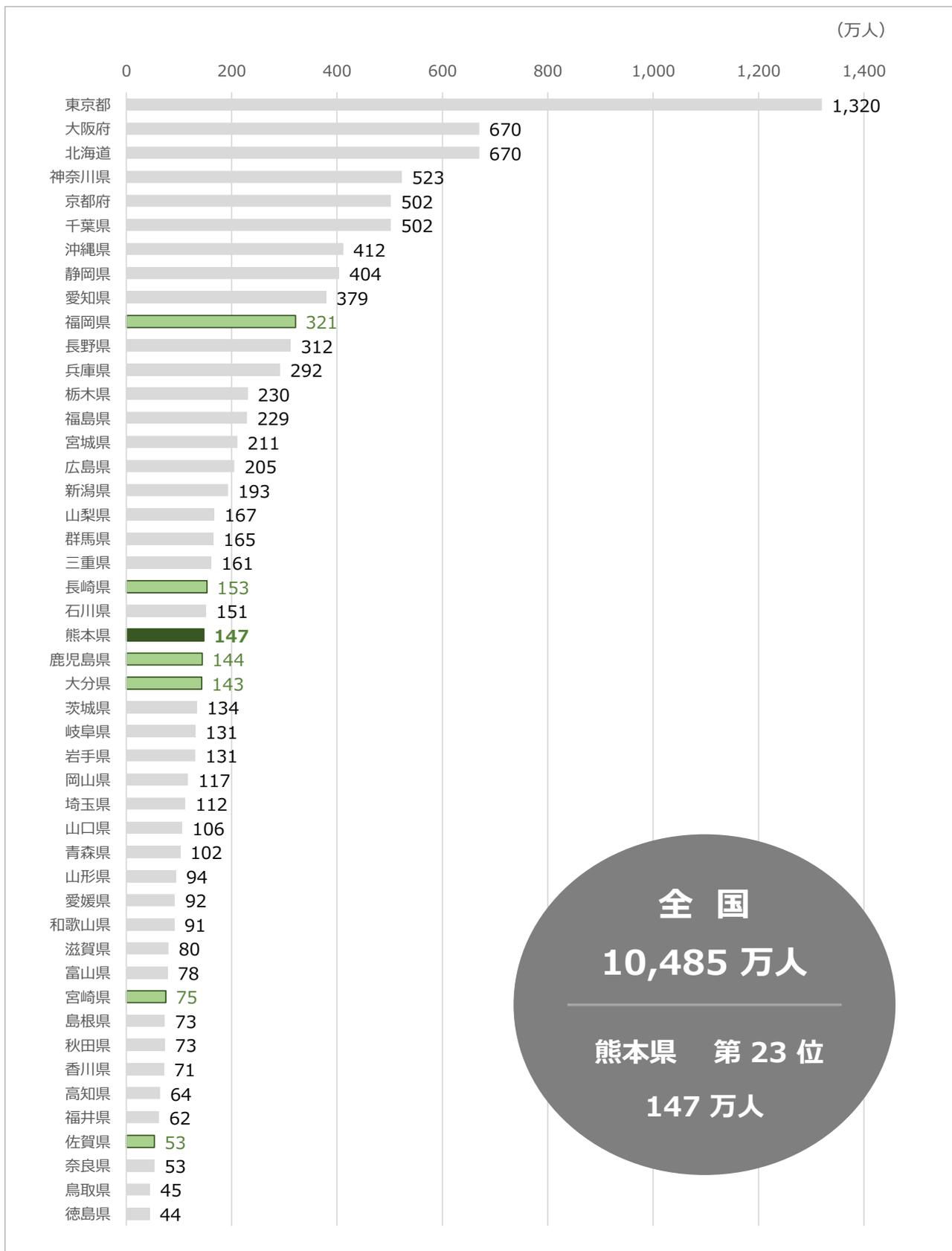
5. 日本人・外国人別割合



2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

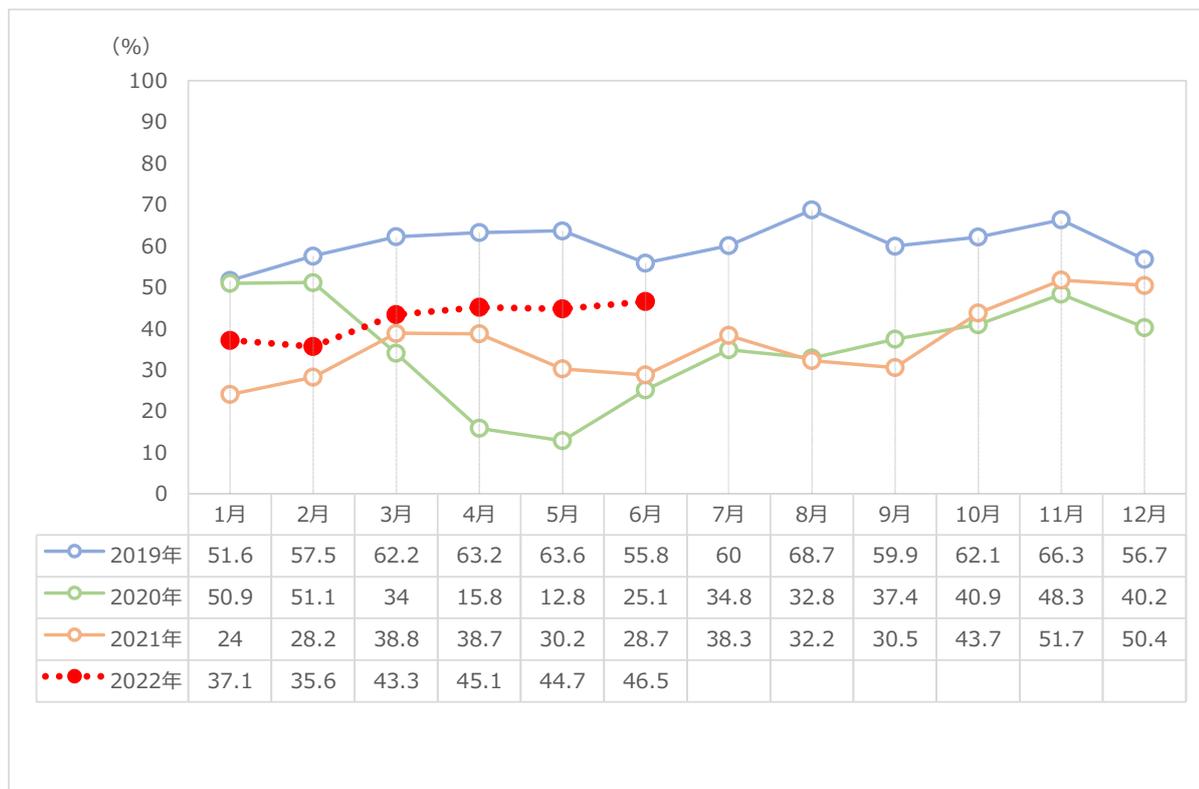
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



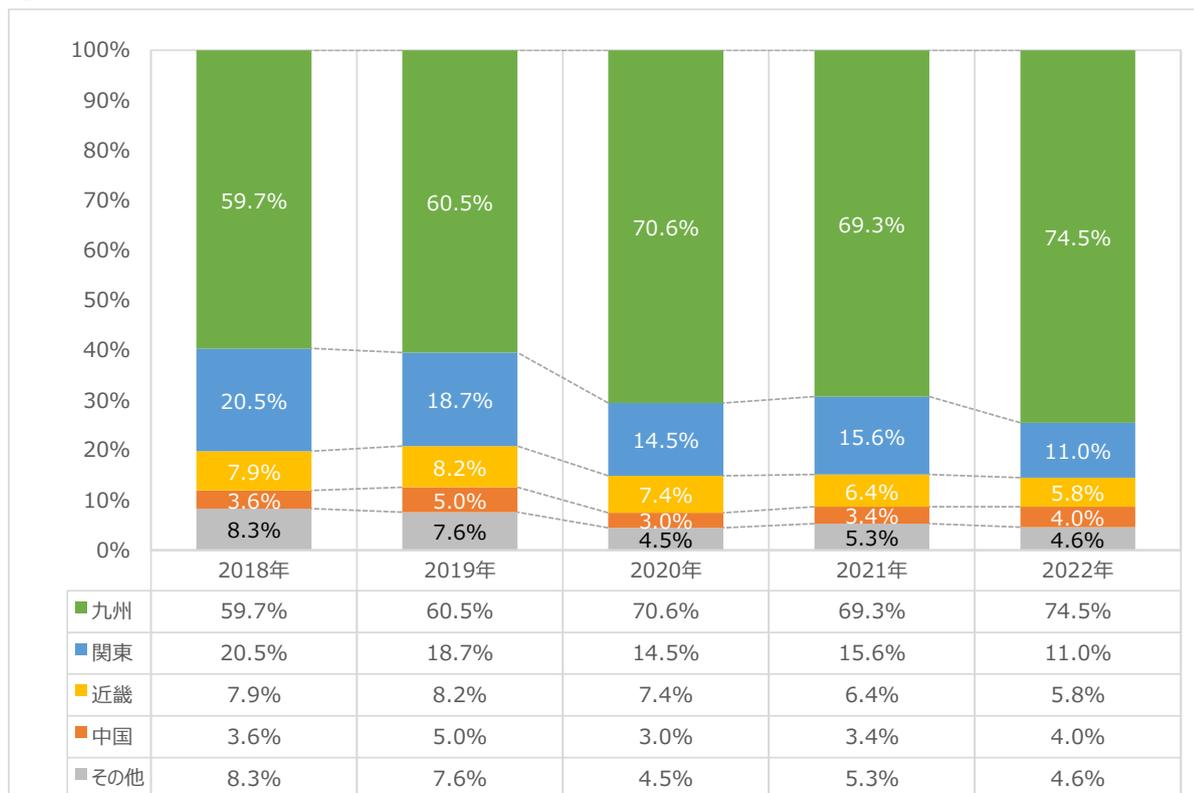
① 施設別稼働率

施設	2021年			2022年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
全体	38.7%	30.2%	28.7%	45.1%	44.7%	46.5%
旅館	27.0%	19.6%	16.0%	33.4%	37.7%	34.4%
リゾートホテル	19.2%	15.2%	10.8%	28.7%	35.5%	33.2%
ビジネスホテル	51.8%	41.4%	41.5%	58.1%	57.4%	61.0%
シティホテル	50.8%	35.7%	37.8%	46.7%	39.1%	49.4%
簡易宿所	13.7%	11.9%	10.4%	22.3%	13.3%	9.1%
会社・団体の宿泊所	16.2%	6.4%	10.5%	29.3%	21.8%	27.5%

2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



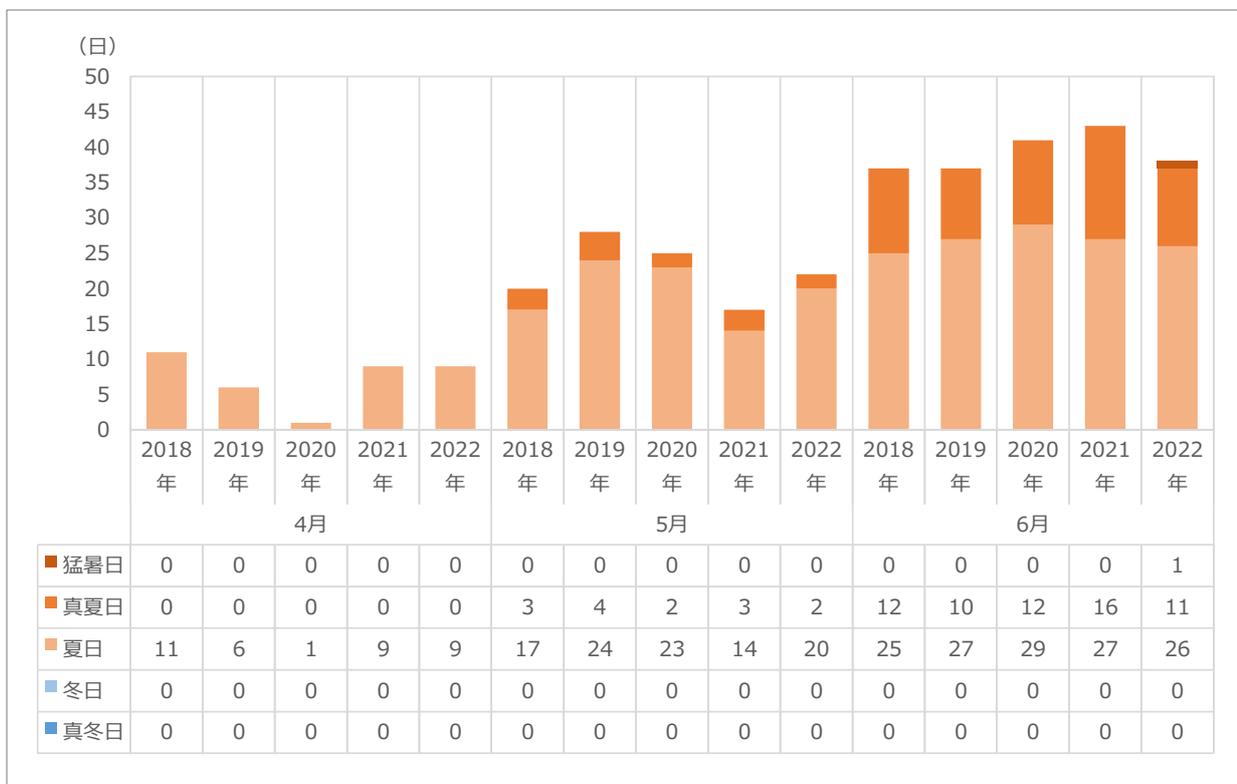
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2021年		2022年	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	熊本県	20,065人	熊本県	28,470人
2	福岡県	15,046人	福岡県	25,490人
3	東京都	5,232人	東京都	5,828人
4	鹿児島県	2,237人	宮崎県	3,798人
5	大阪府	2,053人	鹿児島県	3,606人
6	神奈川県	1,858人	大分県	3,153人
7	大分県	1,268人	佐賀県	2,557人
8	宮崎県	1,116人	兵庫県	2,209人
9	千葉県	994人	長崎県	2,209人
10	佐賀県	989人	神奈川県	2,050人

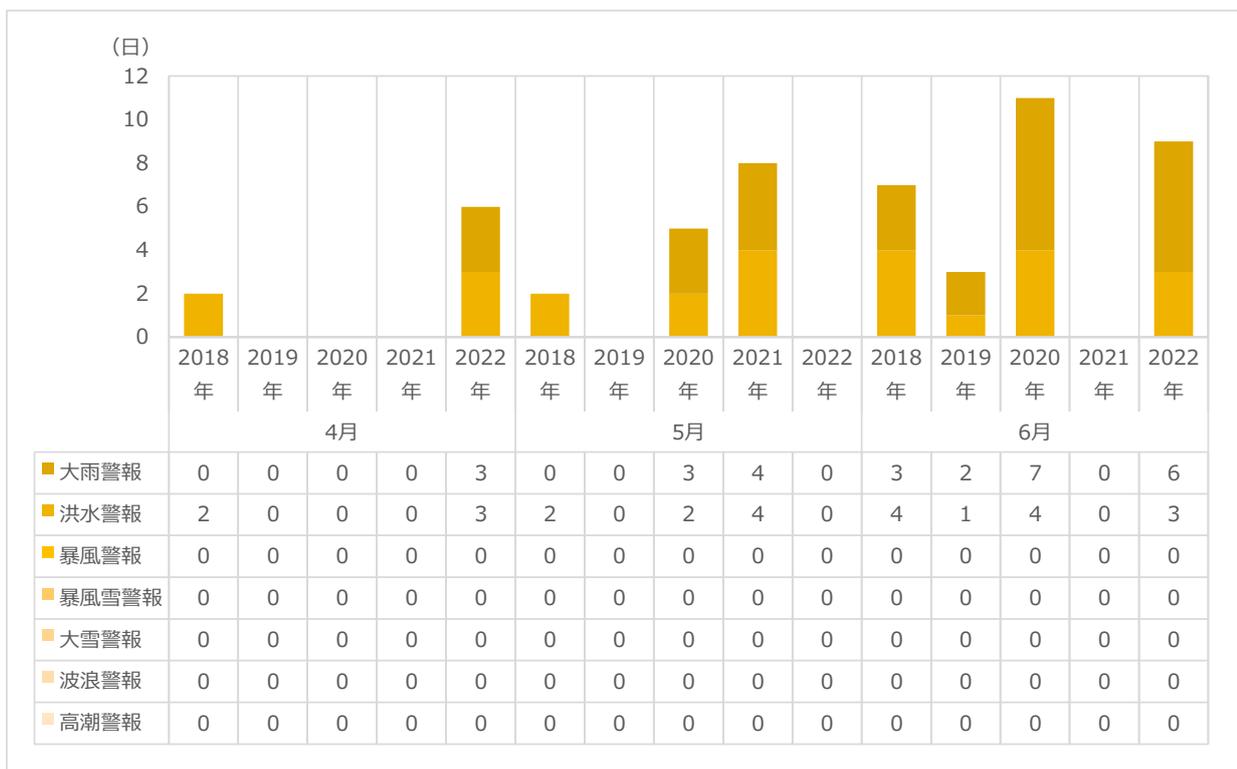
2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2022年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

- ・熊本市で「第38回全国都市緑化くまもとフェア（くまもと花とみどりの博覧会）」開催（3/19～5/22）
- ・熊本地震で被災した通潤橋の橋上公開を6年ぶりに再開（4/2）
- ・熊本市で「第4回アジア・太平洋水サミット」開催（4/22～23）
- ・黒川温泉観光旅館協同組合、入湯手形を1986年の導入以来初めてリニューアル（6/26）

- ・「くまもと再発見の旅」実施（エリア：熊本県全域※、対象：九州在住者（W）、宿泊期間：3/22～（4/29～5/8除く）※※）

（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要
※令和2年7月豪雨被災地域では、土曜・指定日の助成額を増額（5/31まで）
※※3/31までは熊本県民のみ、4/1から佐賀県・大分県・宮崎県・鹿児島県、4/4から長崎県、4/8から福岡県の在住者を対象に追加

▽ 観光シーズンの動向 ▽

4月から6月にかけて、新型コロナウイルスの感染状況が全国的に小康状態で推移したこと、また「くまもと再発見の旅」が再開し、対象も九州在住者に順次拡大したことなどから、主に県内・九州内からの観光需要が回復し、前期よりも延べ宿泊者数が増加し、客室稼働率も上昇した。ゴールデンウィーク期間も、4/30～5/3頃を中心に、宿泊施設の稼働状況が県内各地で伸長した。また6月には、コロナ禍後で初めて、日本人宿泊者数が2019年同月を上回った。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2018～2021年は確定値、2022年は第2次速報値を採用
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したものの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。